



日建第81号  
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

日南市長 谷口 義幸



中期的な計画の作成に当たってのご意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあったこのことについては、別紙のとおりです。

## 中期的計画の策定に関する今後の道路政策や道路の整備・管理について

### (1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ① 地方と都市・主要施設と主要道路を結ぶ「生活の道」としての道路網整備
  - ・地方における高速道路や主要道路は地方から中央へ資源を供給する上からも重要な位置付けにあり、その道路網としての整備が重要。
- ② 災害時における住民の生活を守る「命の道」としての道路整備
  - ・災害時における避難路として、また、緊急物資等の輸送路としての道路整備及び災害に強い道路整備が重要。
- ③ 観光と一体となった道路整備
  - ・道路そのものを観光資源として活用し、地域づくりに寄与した道路整備、また、観光地（施設）へとつながる主要道路の整備等、観光と一体となった整備が必要。
- ④ 歴史的・文化的景観、自然景観に調和した道路整備
  - ・地域の特性に調和し、豊かで美しい景観形成に配慮した道路整備が必要。

### (2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 既存の道路の安全性と快適性の確保
  - ・新たな道路整備を進めることも重要であるが、既存道路の維持的再生整備が必要
- ② 住民との協働による道路の環境整備。
  - ・利用者自らが清掃・除草等に積極的な取り組みを行うよう推進し、地域に密着した良好な道路環境の保全創出を図る。

### 3) その他道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地方は、都市部へ向けて多くの資源、多くの人材を送り出しており、地方こそが都市部を支えている。そのような中、都市部の交通網をはじめとする社会基盤の整備は、格段に進んでいる。一方、地方における交通網等の整備は、格段に遅れている状況にあり、都市部と地方との格差が拡大している。

特に、宮崎県南地域は、台風や大雨のたびに幹線道路が交通途絶するため住民生活や産業経済活動が大きな打撃を受けている。また、高速道路については、東九州自動車道「日南～南郷～串間～志布志間」が未だに基本計画のままである。

交通網等の整備がされていない地方で生活するには、道路交通への依存度が極めて高く、ガソリン税等も地方の負担が大きい。国土の均衡ある発展のためには、遅れている地方の交通網の整備を重点的に行う必要がある。

そのためにも、道路特定財源を「真に必要な道路」を整備するための財源として活用し、地域基盤づくりを進めるべきである。